

モニタリング結果報告書

施設名 : 津久井湖城山公園
指定管理者 : (財) 神奈川県公園協会
施設所管課 (事務所名) : 津久井治水センター

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考 (確認事項等)
10月	11月10日	11月20日	月例報告、現地確認等
11月	12月10日	12月16日	月例報告、現地確認等
12月	1月12日	1月20日	月例報告、現地確認等
1月	2月10日	2月22日	月例報告、現地確認等
2月	3月10日	3月18日	月例報告、現地確認等
3月	4月12日	3月21日	月例報告、現地確認等

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要 (総合)>

「歴史と自然資源を活かし、地域の誇りを育む公園づくり」を総合的な管理運営方針に掲げ、実現に向け、具体的な事業を提案した。

①季節に合わせた事業として「桜ライトアップ」や「ルピナスまつり」を実施し、花の苑地や水の苑地における利用増と地域振興を図る。

②地域振興としての取り組みとして、花の苑地において「つくい逸店市」事業を定期的の実施し利用増を図る。

③地域の元気に向けての新たな取り組みとして、地元の方やボランティア団体との協働により、地域振興、子育て支援等につながる事業を吟味、調整のうえ実施。

<実施状況 (総合)>

①平成19年度以来実施の「桜のライトアップ」については、改善しながら実施し、新たに「イルミネーション」を地域の実行委員会に参加し実施。「ルピナスまつり」では、地域観光協会と連携、集客に努めた。

②昨年度に引き続き、「つくい逸店市」事業を実施。

③市を事務局とする「津久井湖・城山周辺活性化情報交換会議」に参加。また、地元商工会が主催する「津久井城シリーズ」の商品開発に積極的に協力した。未就園児の自然体験行事、ならびに「うたうたげ・つくい」との共催事業を通し、子育て支援を行った。

<提案内容の概要 (維持管理)>

草地管理において、園内全域の景観を保つために、希少植物に配慮しつつ計画的な機械除草業務の実施と3地区(水の苑地、花の苑地、根小屋地区)に分かれている園内をご利用いただくお客様が、回遊して楽しめる景観づくりとして特色ある花壇作りの実施を提案した。

<実施状況 (維持管理)>

指定管理業務を計画的かつ適切に実施しつつ、雑草等の生育状況に応じて機械除草業務を行った結果、年間243,200㎡の計画に対して、350,000㎡を実施、利用者に豊かな空間を提供することができた。また、機械除草の時期や範囲を植物愛好家の意見を参考に、さらに精査し、野草の開花状況を考慮しながら管理を行い、より良い野草の開花をお客様に提供できた。

また、各園地に行かなければ見られない花の植栽や、特色ある花壇づくりを行い、お客様が回遊を楽しんでいただけるよう、それぞれの景観にあった花を演出した。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	119,000	119,000	0	119,000	0
上半期計 (a)	62,569	62,569	0 (0)	60,502	2,067
下半期計 (b)	56,431	56,431	0 (0)	58,468	△ 2,037
10月	9,600	9,600		8,924	676
11月	9,834	9,834		9,427	407
12月	11,518	11,518		14,063	△ 2,545
1月	8,072	8,072		8,202	△ 130
2月	8,223	8,223		7,596	627
3月	9,184	9,184		10,256	△ 1,072
合計 (a+b)	119,000	119,000	0 (0)	118,970	30

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当なし	
支出の状況	該当なし	

- 収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	337,827人	317,681人	6.3%
下半期計 (b)	231,461人	256,772人	△9.9%
10月	43,319人	47,379人	△8.6%
11月	43,320人	43,726人	△0.9%
12月	37,949人	42,447人	△10.6%
1月	37,220人	38,739人	△3.9%
2月	31,728人	40,465人	△21.6%
3月	37,925人	44,016人	△13.8%
合計 (a+b)	569,288人	574,453人	△0.9%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	3					3
11月	4	1				5
12月	5					5
1月	3					3
2月	6	2				8
3月	4	1				5

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・園内に歩きにくい箇所がある	修繕可能なところは、すぐに処置。その他については、土木事務所に相談。
	・双眼鏡の貸出	貸出規約を作成、貸出を開始した。
職員対応	・作業車両のスピードが速い	朝礼、会議等で、注意確認。
	・	
事業内容	・特になし	
	・	
その他	・桜の剪定をしているが、時期としては適切なのか	テングス病、枯れ枝、徒長枝等を剪定した。ただし、今後は周知看板等を設置し、開花前等の剪定は止め、適切な剪定時期を心がける。
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
	特になし

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>①山野草の開花時期、景観等については植物愛好家の意見を参考に調和をとりながら、機械除草等の草地管理の実施を進めた。また、希少植物については、極力保護とし環境保全に努めた。</p> <p>②「イルミネーション」「津久井湖・城山周辺活性化情報交換会議」等、地元との協働事業に参加。地域との連携に努めた。</p> <p>③「安全・安心・清掃・清潔・笑顔の挨拶」を合言葉に、適切な管理運営に向け、職員の意識の共有を図った。</p>
施設所管課	<p>①希少植物について、維持管理面で配慮している。</p> <p>②地元と協働し、連携の強化が図られている。</p> <p>③職員の接客（公園利用者）に対する、意識向上が感じられた。</p>